



三陸ジオパーク
Sanriku Geopark

～悠久の大地と海と
ともに生きる～

三陸ジオパーク推進協議会
コーディネーター 杉本伸一さん

ジオパーク出前授業、開講中!

ギョモンくん みよこのちやんちの GEO 発見新聞

11/29
(金)

2019年12月発行
第22号



県立宮古高等学校 定時制 (3、4年生10名)

大地の歴史や人の暮らしがわかるジオパーク。「ジオを使って何が出来る?」という講師の問いに、ある生徒は「自然の素晴らしさを発信して、ここへ来てもらえるようにする」と答えていました。

11/6
(水)

浄土ヶ浜の白い石をよく見て! マグマの流れたあとがあるよ

ジオパーク認定ガイド
佐々木洋介さん



崎山小学校 (5年生34名)

三陸みやこの大地と自然、防災が学べる出前授業
宮古市三陸ジオパーク推進協議会では、ジオパークを使って地域を知り、宮古をもっと好きにもらうために出前授業を行っています。
十一月、市内小学校三校が総合学習の時間に浄土ヶ浜のきれいな海辺の生き物、田老の震災被害と復興の様子、防災をガイドさんから学びました。高校の教室では三陸の大地の特徴やジオパーク活動の意義などを講演。受講した生徒からは「自分たちの住んでいる地域の知らないことがたくさんあった。魅力を感じた。感想が寄せられました」などの感想が寄せられました。

11/21
(木)

今日覚えたこと、お家の人とも話してみよう



山口小学校 (6年生33名)

11/26
(火)

田老の町には海とともに暮らしていく知恵と工夫がたくさん!

学ぶ防災ガイド
佐々木純子さん
(同左)



高浜小学校 (6年生9名)

三陸の大地の成り立ちや防災学習など、みやこのジオがよくわかる「三陸ジオパーク出前授業」を行っています。お気軽にお問い合わせください。(宮古市観光課 ☎ 0193-68-9091)

11/1~3
(金~日)

第10回日本ジオパーク全国大会 2019おおいた大会



“日本一のおんせん県”こと大分県で行われたジオパーク全国大会へ参加してきました。

開会セレモニーは「姫島の盆踊」のキツネ踊りからスタート。基調講演ではNHKの人気番組「ブラタモリ」のチーフプロデューサー・相部任宏氏が「番組では“違和感”と“意外性”をもって人が教養を得るプロセスを描いている」とお話ししました。

また、会場では全国からたくさんのジオパーク関係者が集まり、意見や情報を交換しました。

ジオパーク活動報告



浄土ヶ浜のどこかにいる土方さんと記念撮影！

真崎わかめと鳴門のわかめの違いは？

おめでとう！景品の海産物詰め合わせ！



11/16
(土)

ジオのカーニバル in 浄土ヶ浜

クイズに答えたり写真を撮ったりしてポイントを集めるゲーム「ジオのカーニバル」が行われ、70人もの参加者が楽しみました。台風の影響で一度は開催が危ぶまれましたが、当日飛び入り参加した観光客も多く、思い思いに浄土ヶ浜園地内を歩いてジオの魅力に触れていただきました。

主催は、ジオパークを広く知ってもらうために市民が立ち上げた「三陸ジオパークを楽しむ会」。市内外の学生・生徒らもボランティアとして協力し、一丸となってイベントを盛り上げました。

11/24
(日)

津波遺構たろう観光ホテル 一般公開

毎年、田老の「鮭・あわびまつり」に合わせて行っている無料公開。今年は1日のみの開催でしたが、173名の方々にお越しいただきました。遠くはなんと岡山県から！

普段は「学ぶ防災ガイド」に申し込まないと入ることができない建物内の見学や、震災時に地元の方が撮影した映像の上映を行いました。来場した方々からは、衝撃的な津波の映像とともに、ホテルの壊れた様子や、館内でのガイドの解説などが印象に残った、という声を多数いただきました。

また、現在工事中のエレベーターは、来年1月から使用可能となる予定です。



宮古市のジオサイト紹介パンフ



www.facebook.com/Miyako.Geopark

Facebook



www.twitter.com/Miyako_Geopark

twitter



GEO発見新聞バックナンバー



宮古市三陸ジオパーク推進協議会（宮古市 観光課内） TEL:0193-68-9091 FAX:0193-63-9120



【ご注意】令和元年台風19号の影響により、宮古市内の一部のジオサイトへつながる道路や自然歩道が破損し、通行できなくなっております。詳しくは、宮古市観光課(☎0193-68-9091)までお問い合わせください。